

# 保全活動日記

実施日 2021 3/14 (SUN)	時間 10:00-12:00	天気 晴れ	参加人数 56 人
------------------------------	-------------------	----------	-----------------

信太山丘陵里山自然公園では、多様性の高い二次草原の復元をめざして環境保全活動に取り組んでいます。今回は東側エリアのタケの除去作業と西側エリアのネザサの刈取りを行いました。また、泉大津高校の生徒や大阪府立大学の学生といっしょに活動を行いました。

## 東側エリアのハチク林の除去作業

タケは拡大すると他の植物を被圧します。その結果、生物の多様性が低下する恐れがあります。公園協議会ではこれまでハチクの間伐作業を行ってきました。今回、泉大津高校の生徒の皆さんの活躍により、多くの間伐したタケを搬出できました。



声を掛け合い協力することで、斜面の下から上へタケをスムーズに運びました。



除去したタケは1か所に集めます。公園案内板等の材料に活用する予定です。



バッタ、テントウムシなどの昆虫を見て春の訪れを強く感じました。



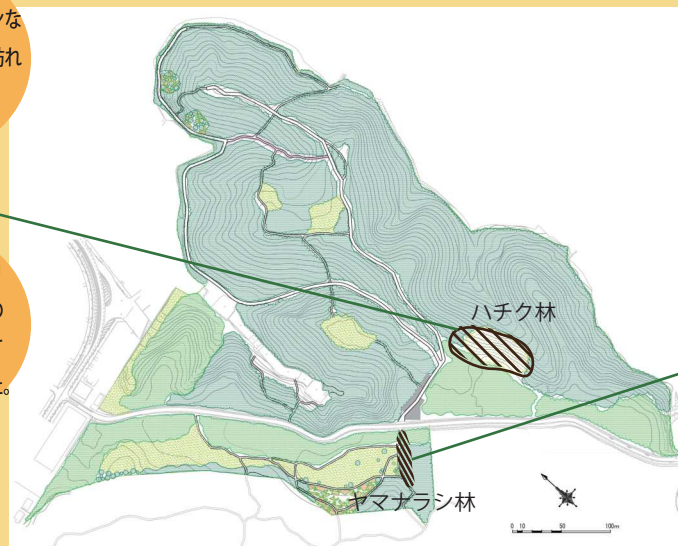
里山自然公園づくりに欠かせない自然の手入の方法が、とても良くわかりました。

活動後は、高校生、大学生が感想を発表しました。



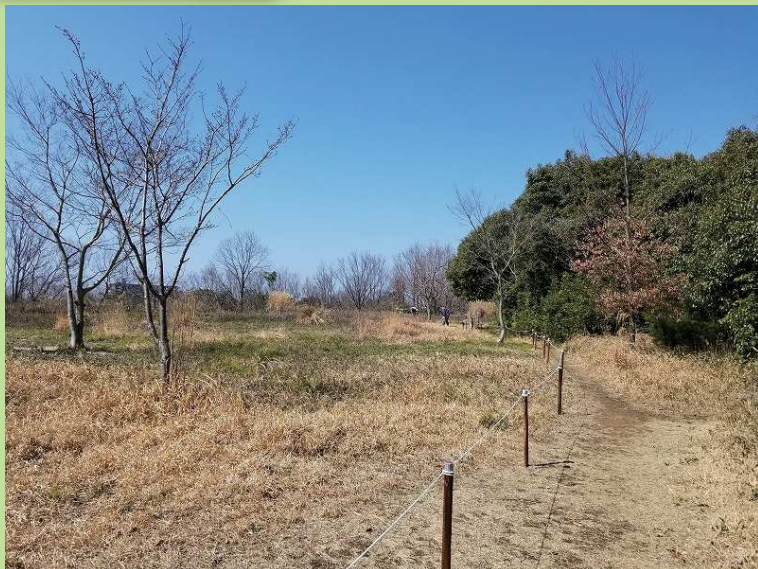
## 西側エリアのネザサの刈取り作業

ヤマナラシ林周辺のネザサの刈取りなどを行いました。



### 園路の柵づくり

春から秋にかけて小さな花が咲く山野草等を眺めて楽しめるよう、園路の柵づくりを行っています。7月下旬の夏休み前に完成できるよう取組んでいます。



園路から、チョウ、トンボ、バッタ等の昆虫も確認することができます。



園路を快適に利用してもらえよう入念に草刈りをしています。



親子で虫取り調査を行う様子です。

### ヤマナラシ林の活用

ヤマナラシの木は、比較的まっすぐに伸びる特徴を持っています。このため、見通しも良く、明るい林です。現在、ここを遊び場として活用できるよう企画中です。



幼児から小学校低学年までの子どもが遊べる場づくりを考えています。

▼「信太山丘陵里山自然公園」についての詳しい情報は、市のホームページをご覧ください。

以下のワードで検索 /

信太山丘陵里山自然公園

検索



◀ QRコードで読み取り

### 湿地の補修

カスミサンショウウオの産卵場所となる湿地の環境づくりの報告です。谷筋にある水田跡の湿地の最下段で水が漏れている箇所に防水シートを張り付けました。(写真下)

2021.03.14 時点ではカスミサンショウウオの卵は未確認です。(写真右)



防水シート張付作業 (2021.01.19 撮影)



(2021.03.14 撮影)

### 保全活動ミーティング開催



環境保全活動後、活動場所でミーティングを行っています。今後の保全活動計画の検討や柵づくり、サインづくりなども行う予定です。

申込の必要はありません。ぜひご参加下さい。

#### 信太山丘陵里山自然公園

#### 新型コロナウイルス感染防止対策

- 三密（密閉、密集、密接）を避けること。
- 原則として、マスクを着用すること。ただし、熱中症対策に配慮し、「水分」をこまめにとり、「塩分」をほどよくとること。また、活動中に苦しくなった場合はマスクを外して活動する、または休憩すること。
- 必ず軍手を着用し、活動前・後の必要に応じて、準備したアルコール等の除菌液・シートにより手の消毒を行うこと。
- 草刈機、カマ、剪定鋏などの道具や拡声器など、他の人が触れる可能性のある物には除菌シートにより消毒を行った後、再度使用するよう心掛けること。
- 新型コロナウイルス感染症の症状の疑いがある時、或いは体調がすぐれず、咳やくしゃみ、発熱がある時は活動に参加しないこと。